



第 115 号

発行 四條畷市民生委員
児童委員協議会

会長 石 原 欽 子

編集 民児協なわて広報部

管 外 研 修

止揚学園視察研修



東近江市民児協との交流会



100周年記念誌



令和元年7月発刊
閲覧を希望の方は社会福祉協議会へ
お問い合わせ下さい。

第34回
親と子の映画会

令和元年8月21日(水)



谷口智則さんと『絵を作ろう』



ステキな作品の勢ぞろい!!

民生委員
児童委員 PR街頭キャンペーン

グリーンホール田原(なるなるホール) 141人

市民総合センター市民ホール 513人

四條畷市民生委員児童委員大会

5月22日(水)、四條畷市役所で開催されました。一部は、石原欽子会長の挨拶に続き来賓の東修平市長、浅井茂社会福祉協議会会長に祝辞を頂き、二部では、交野市の社会福祉法人もくせい会ケアハウス、きんもくせい、在宅サービス課山口洋様・生活相談員



石井智行様による『介護者の心のケアについて』のテーマで、認知症があっても住みながら地域で暮し続けることのできる社会への実現、そして認知症カフェをとおして見えてきた介護者への心のケアと今後の課題についての記念講演がありました。

第71回大阪府民生委員児童委員大会

5月20日(月)、大阪国際交流センターで開催されました。式典では本年を大阪府民生委員(方面委員)制度創設101年目の未来に向かつて新たに歩みだす大切な年とし、「地域共生社会」の実現をめざすことを大会宣言しました。第二部はルーテル学院大学学長市川一宏氏による「これからの民生委員・児童委員活動を考える」と題する記念講演で、非常を示唆に富んだ話を伺うことができました。第三部



では枚方市民児協による認知症見守り声かけ訓練の事例発表がありました。表彰状授与では、上山妙副会長が永年勤続民生委員表彰、井上賢太郎委員が優良民生委員表彰を受けられました。また令和元年度子どもさわか賞が四條畷市のなわて子ども太鼓に授与され、本市参加者みんなが喜びを分かち合い会場を後にしました。

管外研修(7月7・8日実施)

7月7日(日)、8日(月)、管外研修に参加しました。1日目は亀岡市の関西もようどう大協会を見学しました。ここではもうどう犬として生活することが楽しめるような犬に対して①人に注意を向け人の命令を聞く訓練(基本訓練)②ハーネスをつけて安全に歩くための訓練(共同訓練)を行っていました。どちらにおいても「グッド、グッド」と犬をよくほめながら訓練する様子を見学しました。



2日目の午前は東近江市民児協との交流会を行いました。冒頭、同民児協高齢者福祉部会のみなさんによる認知症の方の見守りテーマにした寸劇の披露がありました。続いて認知症の方とその家族とのかかわり方や地域の中でどのように見守りをしていくのかを主テーマにして数名のグループに分かれて懇談会を行いました。30分程度の短い時間でありますが、10グループ全部において活発な情報交換を行うことができました。

た。

その後、東近江市にある止揚(しやう)学園を訪問しました。創設当初は知的障がい、児童福祉施設であったが、居心地がよいのか成人になっても別の成人施設に移る人がなく、現在は38名の方が生活する成人施設となっています。またここで命永らえたいと希望する人が多く、敷地内には納骨堂まで設けられていました。

私と止揚学園とのご縁は私の以前勤務先である成人通所施設



東近江市民児協との交流会



止揚学園での昼食会

設に本学園の福井達雨(たつ)氏が講演にいられた時以来のことです。当時止揚学園はガラス窓に曇りひともありませんでした。今回もそうであり改めてびっくりしました。昼食をみなさんと一緒にいただくことができ、久々の感激を胸に辞去しました。

内藤 壽

ものづくり交流会

第2回谷口智則さんと絵を作ろう

絵を作ろう

7月30日(火)、総合センターで、50組の親子が参加されました。絵本の読み聞かせ、サンタのぬり絵、子ども達も大喜びの1日でした。当日、ケーブルテレビの取材があり、後日放送されました。



生活福祉部会 研修会

7月11日(木)、京都認知症総合センターへ研修に行きました。

2015年に通い、介護から終の住まいまで、認知症の人とその家族の視点に立って一体的に提供される循環型の「認知症総合センター」構想推進が策定され、京都市域包括ケアのモデル事業所として開所され、医療支援・初期支援・在宅支援・施設入所サービスの4機能を備える所謂ワンストップで認知症の初期から重度まで、馴染みの場所で馴染みのスタッフ



認知症カフェ

から継続した支援を受けられることが特徴とされています。鑑別診断・治療が必要な方・診断を受けたが介護保険の適用外の認知症初期の方に対して、常駐の相談員を配置した常設型認知症カフェを活用支援の途切れがないよう取組まれています。地元宇治市民生委員児童委員の方々がセンターに対しての様々な連携を考えているか意見交換の場があればよかった。

中野正孝

認知症サポーター養成講座・介護者の心のケアについて

6月19日(水)、認知症サポーター養成講座がありました。

認知症とは、知的機能が、脳の器質性障害によって持続的に低下し、日常生活や社会生活が営めなくなっている状態を言います。

認知症には、アルツハイマー病、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、脳血管型認知症があります。

それぞれの認知症により症状は様々ですが、早期発見、早期受診、早期診断、早期治療が大切です。

認知症高齢者に対する対策が具体的に求められる中、福祉の最前線での活躍の模様が手に取

るように伝わってきました。「こうあるべき」という方針や考え方から導き出されたものではなく、認知症の人やその介護者の方を目的にされている具体的な行動には重みがありました。認知症カフェについては新オレンジプランにおいても具体的な姿や詳細な運営方法が定まっています。そのような中、実態を踏まえてまずは行動に移され、試行錯誤しつつも成果をあげられています。

育児や介護・障がい者への対応にまでその対象を拡大した居場所作りの必要性にも言及がありました。私たち民生委員においても、もっと視野を広げて我が事丸ごとの活動を行っていくことが大事であると感じました。

主任児童委員 研修会

河北ブロック研修会

7月22日(月)、大阪電気通信大学寝屋川駅前キャンパスにて、「児童虐待の対応と地域との連携について」の研修会に参加しました。

悲しい結果となり表面化してきた虐待ですが、いくつかの要因として、家庭が地域で孤立する、親の精神疾患・虐待歴、さらに子どもの病弱・障がいなどで、実母による0才児の死亡が一番多い。現状、虐待の対応は後追いであり、未然防止対応が必須である。最近では近隣者の通報も増え、育児不安にSOSを出す人も増えている。このことを無意味にせず、地域で子どもの生命を救えるよう、温かい地域づくり主任児童委員としての役割を果たしたいと思います。

原田陽子



街頭キャンペーン

5月12日(日)、忍ヶ丘駅周辺、楠公商店街、田原地区で「民生委員・児童委員の日」街頭キャンペーンを実施しました。

地域に暮らす身近な相談相手としての活動を知ってもらうことが目的です。

貝塚市交流会

6月12日(水)、貝塚市主任児童委員の皆さんとの交流会が、貝塚市民福祉センターであります。



まず、両市の活動内容が発表し、その後グループに分かれ各地区の活動について話し合いました。貝塚市は11人の主任児童委員さんが活動され、校区が広い地域は電車通学の児童がいて見守りが大変だったり、一部の地域では一年生の下校時間に合わせて防災無線で呼びかけるなど、地域全体で見守っているという話もありました。皆さんとても明るい方ばかりで、本当に有意義で楽しい交流会になりました。

吉田知子

ちゃんぶるーフェスタ

6月30日(日)、第29回おいでやあ!ちゃんぶるーフェスタが市民総合センターで開催されました。障がいを持つている人と地域との交流が目的です。

参加しました

民生委員・児童委員 活動記録

5月

理事会・定例会
平成31年度四條畷市民生委員児童委員大会
記念講演
「介護者の心のケアについて」
講師 社会福祉法人もくせい会
ケアハウスさんもちのけい
在宅サービス課 山口 洋様

民生委員・児童委員の日街頭キャンペーン
こんには赤ちゃん訪問事業(毎月)
小地域ネットワーク活動(毎月)
主任児童委員活動
子育てサロン支援(毎月)
子育て関係機関連絡会(子関連連)
四條畷市主任児童委員連絡会(毎月)
保健センター 歳半健診
PR活動(毎月)
市内学校訪問

6月

理事会・定例会
「認知症サポーター養成講座」
講師 四條畷第3地域包括支援センター
小宮欣恵様
くすのき広域連合四條畷支所
認知症地域支援
推進員 吉兼貴子様
橋本雅美様
社会福祉協議会
大阪府主任児童委員研修会
貝塚市民児協と主任児童委員の交流会
ちゃんぶるーフェスタ参加協力

7月

理事会・定例会
管外研修
「東近江市民児協との交流会」
「止揚学園視察研修」
生活福祉部会
「京都認知症総合センター視察研修」
民生委員(方面委員) 制度
創設100周年記念誌発行
ものづくり交流会
主任児童委員河北ブロック研修会
大阪電気通信大学寝屋川駅前キャンパス

8月

親と子の映画会及び交通安全教室
題名「グリンチ」
なわて打ち水大作戦協力

おめでとう ございます

大阪府知事表彰

永年勤続民生委員表彰(20年勤続)

(中野本町・西中野) 上山 妙

優良民生委員表彰(10年勤続)

(府営清滝) 井上 賢太郎

大阪府民生委員児童委員 協議会連合会会長表彰

子どもさわやか賞

なわて子ども太鼓

(2面に記事と写真・敬称略)

訃報

生前のご功績をたたえ、謹んでご冥福をお祈りします。

植 前 昌 宏 様	平成25年12月1日 就任
藤 田 和 代 様	平成16年12月1日 就任
	令和1年6月15日 逝去

●子育て講演会
10月23日(水) 午前10時～11時30分
〔場所〕 四條畷市市民総合センター
〔テーマ〕 子どもの予防接種について
「安心して予防接種を つけるために」
〔講師〕 小児科医 寺嶋秀幸氏
(講演中は民生委員がお子様をお預かりいたします。)

●市民の集い
10月27日(日) 午前10時
〔場所〕 四條畷市立西中学校体育館
「親子のむかし遊び」 無料

●お知らせ
年賀状のイラスト募集
民生委員が一人暮らし高齢者の方々に送る年賀状のイラストを小学6年生以下の皆様から募集します。テーマは来年の干支「子」。
四條畷市内在住者に限る。
△問い合わせ先▽
四條畷市役所福祉政策課
☎072-877-2121(代)
もしくは
四條畷市社会福祉協議会
☎072-878-1210
詳しくは、9月号市の広報またはホームページを参照ください。

親子の映画会 「グリンチ」

8月21日(水)、「親子の映画会」が開催されました。午前10時からグリーンホール田原で、午後1時30分から市民総合センターで大阪府警による交通安全教室、午後2時から映画会がありました。

映画後、子どもたちに感想を聞くと、「会場が家から近くでよかった」「他人がしあわせになったときは、自分もうれしい気持ちになって素直に喜びたいと思った」「おもしろかったのだから来年もまた見に来たい」など楽しい映画会が開催されました。



感想を聞いています

ご存知ですか？ 5段階の警戒レベル

5月29日から、ニュースなどで大雨や洪水時に出る気象庁の防災気象情報や市町村の避難情報に、危険度に応じた**5段階の「警戒レベル」**が加わっています。

平成30年の「西日本豪雨」で住民が逃げ遅れた反省を踏まえ、住民等が警戒情報の切迫感を直感的に理解できるよう、防災情報を5段階の警戒レベルにより提供し、とるべき行動の対応を明確化しました。

避難や防災対応の原則を再確認し、自分の命を守るために、想定にとらわれず、警戒レベルに対応する最善の行動を、迷わずとりましょう。

◆避難の三原則

(東京大学大学院・片田敏孝教授)

- ① 想定にとらわれるな。
- ② その時点で最善を尽くせ。
- ③ 自ら率先避難者になれ。

◆防災対応の三原則

(兵庫県広域防災センター)

- ① 疑わしいときは行動せよ。
- ② 最悪事態を想定して行動せよ。
- ③ 空振りは許されるが、見逃しは許されない。

5段階の警戒レベルと住民がとるべき行動

警戒レベル	住民がとるべき行動	市町村が発表する避難情報など	気象庁等が発表する気象情報など
5	命を守る最善の行動を	災害の発生情報	大雨特別警報 氾濫発生情報
4	命を守る行動を速やかに避難を	避難指示(緊急) 避難勧告	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報など
3	避難準備 時間のかかる人は避難	避難準備 高齢者は避難開始	大雨警報・洪水情報 氾濫警戒情報など
2	ハザードマップ等で 避難行動の確認		大雨注意報・洪水注意報 氾濫注意情報など
1	災害への心構えを高める		早期注意報

高
危
険
度

(参考資料：内閣府資料、気象庁ホームページ)